

## 「1.17」は忘れない

震災から10年目を迎えた平成17年1月17日、天皇皇后両陛下ご臨席のもと、兵庫県公館で阪神・淡路大震災10周年追悼式典が挙行された。

また、1月18日から22日まで、神戸でポートアイランドを会場に、国連防災世界会議が開催され、関連事業に多くの県民が参加した。



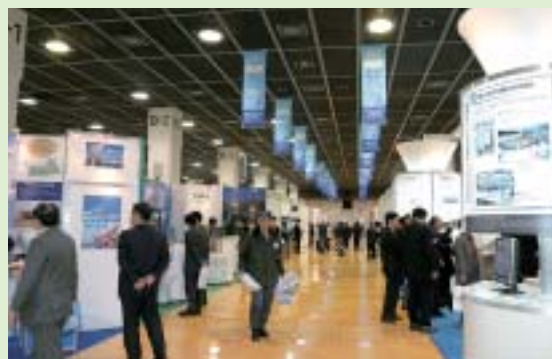
追悼式典（兵庫県公館）



国連防災世界会議 本体会議（ポートピアホテル）



国連防災世界会議会場（ポートピアホテル）



総合防災展・ポスターセッション（神戸国際会議場）



武田政義兵庫県教育長のあいさつ



県立長田高等学校音楽部による合唱



県立盲学校放送部  
後藤大輝君による朗読



震災・学校支援チーム（EARTH）への感謝状の贈呈



心のケア部会パネルディスカッション  
「阪神・淡路大震災の教訓を生かした児童生徒の心のケアの充実をめざして」

10  
周年



俳優 堀内正美氏による記念講演「あの日、あの時、  
そしていま—震災で学んだこと—」



国連防災世界会議総合フォーラムパネルディスカッション  
「地域が広がる「いのち」の助け合い」

教  
育  
復  
興  
の  
集  
い



パネルディスカッション「新たな防災教育の推進に向けて」

## 1周年



県立神戸高等学校  
弦楽部による演奏



栗原高志兵庫県教育長のあいさつ



森田健作文部省政務次官のあいさつ

## 2周年



秋篠宮同妃両殿下が  
教育復興シンポジウ  
ムにご臨席

## 3周年



県立宝塚北高等学校演劇科生徒によるミュージカル  
「いのち美しくーあの日から15年ー」

## 5周年



パネルフォーラム「トライやる・ウィークに学ぶ」



河合隼雄国際日本文化研究センター 所長（当時）による特別講演  
「災害に学ぶ教育の復興」



阪神・淡路大震災記念

# 人と防災未来センター

言葉では伝えきれない  
ことがあります

人と防災未来センターは、阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世に継承し、国内外の災害による被害の軽減に貢献するための施設で平成14年4月に開館した1期施設（防災未来館）と、平成15年4月に開館した2期施設（ひと未来館）で構成されます。



## 1.17シアター

地震発生により崩壊していくビルや高速道路などの様子を、迫力ある大型映像で伝えます。

震災直後のまち  
震災直後の破壊されたまち並みをリアルに伝えるジオラマ模型で再現しています。



## 防災未来館

忘れていませんか「1.17」  
知っていますか「震災」  
見つめていますか「未来」

震災を語り継ぐコーナー  
震災にかかわった人々がビデオで体験を伝えます。また、語り部が自らの体験を生で語ります。



## ブナ林の四季

倒れたブナから新芽が芽生えます。力強い生命の再生を見つめてください。

## ひと未来館

癒しの空間で体感する  
「いのちの尊さ」と  
「共に生きることの素晴らしさ」



## こころのシアター

「葉っぱのフレディ」がいのちの大切さを伝え、生きる勇気を贈ります。

## いのちの息吹

広葉樹林の中で多くの生命が互いに助け合いながら生きていることを伝えます。



## 県立美術館 — 「芸術の館」 —



2002年4月に阪神・淡路大震災からの「文化の復興」のシンボルとして神戸東部新都心(HAT神戸)に開館した兵庫県立美術館では、震災復興10周年記念国際公募展「兵庫国際絵画コンペティション」(1月17日～2月20日)および「震災から10年」記念事業として、コンサートや映画会、レクチャーや作品展示など13の事業を開催した(1月10日～3月13日)。



「兵庫国際絵画コンペティション」では「再生 (Renaissance)」をテーマに81ヵ国約8000点の応募より入選した102点を展示した。写真は大賞を受賞したランバート・モラロキ & プリジット・ハーテル (南アフリカ) による「都会の避難所」。

### 「震災から10年」記念事業の風景



「コレクション展Ⅲ 震災復興関連展示 阪神・淡路大震災復興支援ポスター原画+ジョルジュ・ルース写真」展示風景。当館のコレクションより阪神・淡路大震災にかかわる2作品を展示した。(～3月13日)



「修復室からこんにちは—保存修復のお仕事【保存修復エリア公開】」。修復室の一部を一般来館者に特別に公開した。(1月22日、29日、30日)



県立西宮高校音楽科10期生により、震災により中止となった卒業演奏会が、10年越しで開催された。(3月5日)



ミュージアム・ボランティアによる参加型企画「わたしの夢の美術館」。文化復興と未来への夢を託した参加者それぞれの美術館像を、自由にえがき参加できる掲示板を設置した。(1月17日～2月20日)



# 2006年（平成18年）

## のじぎく兵庫国体開催

— “ありがとう” 心から・ひょうごから— をスローガンに、50年ぶりに兵庫県で国民体育大会が平成18年に開催されます。

のじぎく兵庫国体は、震災からの復興の過程で培われたボランティア活動を生かし、「する みる ささえる—県民一人ひとりが創る国体」を基本目標に、県民総参加の国体をめざしています。

また、阪神・淡路大震災で未曾有の被害を受けた兵庫県に対して、全国から寄せられた温かい支援に感謝の意を表す機会とするとともに、震災から学んだ「人と人との絆」を大切にしたい新たな出会いの場となることを願って、開催の準備を進めています。



### のじぎく兵庫国体の取組

#### ●●●● 「震災復興支援への感謝を表す国体」 ●●●●

震災からの復興にご支援いただいた国内外の方々に元気になった兵庫の姿を披露するとともに、感謝の気持ちを込めて、全国から集う人々を温かくお迎えします。

#### ●●●● 「県民総参加の国体」 ●●●●

震災からの復興の過程で培われたボランティア活動を生かし、「県民一人ひとりが創る国体」をめざします。

また、県下全市町で、正式競技のほか幅広い年齢層の人々が参加できるスポーツ大会や関連行事を開催します。

#### ●●●● 「簡素な中にも活発で充実した新しい国体」 ●●●●

夏季・秋季大会開催の一本化をはじめ、既存施設・県外施設を活用するなど様々な工夫をすることで、簡素化を図るとともに、盛り上がりのある活発で充実した国体をめざします。

### ◆ みんなで創る国体 ◆

震災復興に寄せられた多くのご支援に感謝の気持ちを込めて、全国から訪れる人々を温かく迎える運動に、一人でも多くの方に参加していただけるよう、**あ り が と う** の文字から始まる5つの基本目標を設定しました。

#### 温かなおもてなしで迎えよう

全国から集う人々を歓迎し、交流の輪を広げよう。

#### がんばる兵庫を発信しよう

地域の魅力や震災からの復興の姿を披露し、全国の人々へ、来て・見て・兵庫を感じてもらおう。

#### 美しく花いっぱいのにちをしよう

美しい環境を創り、選手たちに快適に過ごしてもらおう。

あ

り

が

と

う

#### リフレッシュしよう！心と体

国体を契機に自分にあったスポーツを見つけ、心と体をリフレッシュしよう。

#### ともに大会を支え、盛り上げよう

ボランティアスタッフや募金などで国体に参加し、共に喜び感動を分かち合おう。

## のじぎく兵庫国体開催に向けて



福島国体で感謝の気持ちを胸に入場行進する選手団



埼玉国体 天皇杯12位、皇后杯7位



明るく元気な癒し系マスコット『はばたん』は、阪神・淡路大震災から復興する兵庫の姿を象徴した羽ばたくフェニックス（不死鳥）をデザインしています。

平成17年1月17日、はばたんは2歳の誕生日を迎えました。



武田兵庫県教育長から選手代表へ県旗の授与



はばたんは県内各地のイベントで大活躍



スーパーアドバイザーの伊東浩司さんが猪名川中学校で講演と指導



神戸国際展示場で開催された県民運動推進大会に1,300人が参加

# **兵庫県立芸術文化センター** Hyogo Performing Arts Center

自ら創造し、県民とともに創造する「パブリックシアター」をめざして開館  
 多彩な文化創造活動を通じた県民の芸術文化の振興拠点  
 舞台芸術の創造と交流を、国内外に発信する拠点  
 開館にあわせて、付属交響楽団「ひょうごオーケストラ（仮称）」も誕生

自ら創造し、県民のみなさまとともに創造する「パブリックシアター」をめざし、優れた舞台芸術の創造と交流の場となる兵庫県立芸術文化センターが、2005年10月にいよいよ開館します。



阪神・淡路大震災から10年の節目を迎えるこの年に、震災復興のシンボルとしてオープンする芸術文化センターは、交通至便な西宮市高松町（阪急西宮北口南すぐ）に位置し、「いつでも人が集う場」として、地域のみなさまに愛され、育まれ、やがては「街の誇り」となるような施設となることが私達の願いです。

また、開館と同時に立ち上がる付属交響楽団は、このセンターを拠点として活動を展開していきます。



**大ホール（2,000席）**

- ①音楽を中心としてオペラ・バレエ等にも対応
- ②温かみのある木材による内装仕上げと走行式音響反射壁による舞台と客席が一体となった豊かな響きを持つホール
- ③主舞台、袖舞台、奥舞台で構成され、幅広い演出にも対応できる広さの多面舞台



**中ホール（800席）**

- ①演劇を中心としてミュージカル、伝統芸能等にも対応
- ②鑑賞しやすく、台詞等の生音が明瞭に聞き取れる臨場感あふれるホール
- ③奥行きのある演出や転換が容易に行える広さの舞台
- ④多様な舞台セットにも柔軟に対応できる組み立て床システム



**小ホール（400席）**

- ①室内楽に適したサロンの親密感と響きを持ったホール
- ②客席が舞台を取り囲む特徴のあるアリーナ形式
- ③温かみを感じるよう木材を主として構成された客席
- ④自然光を取り込むトップライトを設けた開放的な雰囲気と遮光スクリーンによる集中力を高める雰囲気との二面性を楽しめるホール

## **芸術文化センター付属交響楽団「ひょうごオーケストラ（仮称）」**

世界一フレッシュで、インターナショナルなオーケストラ  
 定期公演、青少年鑑賞公演、アウトリーチ活動等多彩な活動を展開